

博士学位論文・修士論文

◆2009年度

〔博士学位論文〕

- 板野 美紀 児童家庭相談員の相談効果意識に与える影響要因の探索的研究
八重樫牧子 地域における児童館の子育ち・子育て支援の評価に関する研究
—児童館施設の動向と児童館の子育ち・子育て支援に関する調査を踏まえて—
(学位授与日・50音順)

〔修士論文〕

- 柴田 学 社会起業における発展プロセスと福祉的役割と機能の表出に関する研究
—地域福祉推進の立場から—
長田 大嗣 児童期における愛着関係が学校生活の適応に及ぼす影響
—スクールソーシャルワークの視点から—
平尾 昌也 地域拠点形成に関する基礎研究
—地域福祉活動を実践する組織に焦点を当てて—
水山 えみ 知的障害を伴う自閉症者の母親の「ディスアビリティ体験」に関する研究
—母親のライフ・ヒストリー分析を通して—
村井 琢哉 市民社会における子ども・子育て分野の特定非営利活動法人の役割
—特定非営利活動法人によるミッションの市民共有についての基礎的研究—
山野 仁美 「語り」から生まれる、当事者参加生活のモデル
～精神障害者の当事者参加から再検討する地域精神保健福祉に関する考察～
(学位授与日・50音順)

人間福祉研究科優秀修士論文賞「駒草賞」

人間福祉研究科では、故 高田眞治 名誉教授 (2006年12月14日ご逝去) のご遺族から受納した寄付により、優秀な修士論文を執筆した博士課程前期課程の学生の努力と業績を称えるため、優秀修士論文賞「駒草賞」を設けています。

名称の由来は、駒草(ケマンソウ科の多年草、高山植物の一つ)を故人が好まれたことによります。

最優秀賞には表彰状と副賞5万円、優秀賞には表彰状と副賞3万円が贈られます。

2009年度の受賞者は次のとおりです。

・優秀賞

水山 えみ

知的障害を伴う自閉症者の母親の「ディスプレイティ体験」に関する研究

—母親のライフ・ヒストリー分析を通して—

人間福祉研究科優秀修士論文賞規程

(目的)

第1条 学校法人関西学院は、高田睦子氏(故高田眞治社会学部名誉教授夫人)よりの寄付金をもって、人間福祉研究科優秀修士論文賞(駒草賞)を設定する。

2 この賞は、人間福祉研究科学生の研究意欲を刺激し、その向上をはかることを目的とする。

(資格及び交付)

第2条 この賞は、毎年人間福祉研究科において優秀な修士論文を執筆した学生に授与する。受賞者を毎年若干名とし、受賞者には賞状と副賞を授与する。

(所管及び運営)

第3条 人間福祉研究科に優秀修士論文賞(駒草賞)選考委員会を設け、受賞者の選考に当たる。

2 選考委員会の構成及び選考方法については別に定める。

(規程の改廃)

第4条 この規程の改廃は、選考委員会の議を経て、人間福祉研究科委員会で決定し、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、2008年(平成20年)11月1日から施行する。